

新規事業採択時評価結果（平成21年度 新規事業化要求箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業の概要

事業名	地域高規格道路 岡山環状道路 一般国道180号 岡山環状南道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：岡山県岡山市藤田 至：岡山県岡山市古新田	延長	2.9 km		
事業概要	一般国道180号岡山環状南道路は、岡山市街地を外側に一周する延長約40kmの岡山環状道路の一部を構成する地域高規格道路として交流・連携を促進。 当該道路は岡山県岡山市藤田から岡山県岡山市古新田に至る延長2.9kmの道路である。				
事業の目的・必要性	岡山市都市部は一般国道2号、30号から多量の交通が都市内に流入しており、慢性的な交通渋滞を引き起こしている。 このような状況を踏まえ、岡山環状南道路は、通過交通などの交通流を適切に分散・誘導し、岡山市都市部で発生している交通渋滞の緩和及び、交通安全の確保、沿道環境の改善等を図るとともに、都市機能の充実、地域経済の発展や拡大を促進するものである。				
全体事業費	223億円	計画交通量	29,800台/日～94,000台/日		
事業概要図					

事業評価結果

費用対便益	B/C	2.9	総費用：174億円 〔事業費：167億円 維持管理費：7.0億円〕	総便益：507億円 〔走行時間短縮便益：425億円 走行費用減少便益：64億円 交通事故減少便益：17億円〕	基準年：平成20年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C= 2.6 (交通量 -10%)	B/C= 3.0 (交通量 +10%)		
		事業費変動	B/C= 3.2 (事業費 -10%)	B/C= 2.7 (事業費 +10%)		
		事業期間変動	B/C= 3.2 (事業期間 -20%)	B/C= 2.7 (事業期間 +20%)		
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎	国道30号の笹ヶ瀬橋交差点付近における渋滞損失時間の約12万人時間/年の減少が見込まれる（整備なし：30万人時間/年 → 整備あり：18万人時間/年） 【1kmあたり渋滞損失時間】 国道30号の笹ヶ瀬橋交差点付近での1kmあたり渋滞損失時間は490.1千人時間/年・キロで、岡山県平均(15.6千人時間/年・キロ)を大幅に上回っている。 岡山県内全センサス区間における渋滞度曲線の中で上位10位に含まれる 【その他の特徴】 国道30号では笹ヶ瀬橋交差点、当新田交差点と連続して混雑多発箇所（主要渋滞ポイント）が存在しており、将来的には当該道路の整備により解消が期待できる。		
		事故対策	○	泉田交差点や単路区間において、死傷事故率が県平均を大幅に上回っている 【死傷事故率】 青江交差点～泉田交差点：230.7件/億台キロ（単路） 泉田交差点：399.0件/億台キロ（交差点） 岡山県平均：124.4件/億台キロ		
		歩行空間	-	注目すべき影響はない		
	社会全体への影響	住民生活	○	玉野市方面から岡山駅までの所要時間短縮（宇野港から岡山駅の所要時間：37分⇒32分）		
		地域経済	○	岡山市南部方面から岡山ICまでの所要時間短縮（岡山港から岡山ICの所要時間：25分⇒14分）		
災害		-	注目すべき影響はない			
事業実施環境	環境	○	・国道30号の現道部におけるCO2排出量の約2千t-CO2/年の削減が見込まれる（整備なし：約5千t-CO2/年⇒整備あり：約3千t-CO2/年）。			
	地域社会	○	宇野港より航路で連絡する観光地「直島」との所要時間の短縮（宇野港～岡山IC：46分⇒33分、宇野港～岡山駅：37分⇒32分）			
事業実施環境		○	岡山県の長期計画を示した「新おかやま夢づくりプラン」や岡山市の都市マスタープランに位置付けられている。 当該道路は地域高規格道路「岡山環状道路」の一部を形成している。			

採択の理由

費用便益比が2.9と、便益が費用を上回っているとともに、都市計画決定なされていることから、事業採択の前提条件が確認できる。  
当該道路を整備することで交通渋滞の緩和や交通事故の減少などが図られ、物流の効率化、沿道環境改善など事業の必要性・社会全体への効果が高いと判断できる。  
以上から、本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

関係する地方公共団体等の意見

一般国道180号岡山県整備促進期成会 早期完成要望あり  
岡山環状南道路に関する要望書（岡山県選出国會議員、岡山市長）で早期整備要望あり

事業採択の前提条件

費用便益：便益が費用を上回っている。  
環境影響評価を経て、都市計画決定済（H21.3.10）であり、円滑な事業執行の状況が整っている。